



生きものの“つぶやき”：

「刁刁と朝風に吹かれて、いざ旅立つ。」

エッセイ：

刁刁（チョウチョウ）とは、風がそよそよと吹くさまを表す言葉です。早朝に数時間かけて羽化し、ゆっくり羽を乾かし、もうすぐ羽ばたこうとしている瞬間を奇跡的に撮影しました。

このジャコウアゲハの姿を見ていると、これから社会へ羽ばたこうとしている、私たち学生の未来への期待や不安、色んな思いが混じり、社会でうまくやっていけるのかという心境と重なり感動的でした。

この、ジャコウアゲハは、羽化に成功することは当たり前ではありません。ここまで育ったジャコウアゲハが自信を持って自然界で生きてほしいと願いを込めて。数年後に社会で

羽ばたくであろう私も、もがき楽しみ、学生生活を送ろうと決めた夏でした。(290字)

生きものの紹介：

私の住んでいる姫路市のシンボル蝶であるジャコウアゲハです。隼絶滅危惧種に指定されており、ウマノスズクサを幼虫が食べます。数年前に、自宅近くの夢前川の河川敷の工事があり、ウマノスズクサが刈り取られていくため、近所のおじさんに挿木で分けてもらいました。河川敷から自宅までは直線で500mくらいなので生息地は離れていないと思い自宅で育てています。（生息地でないと生きていけないと、生息地以外での放蝶はよくないと蝶のガイドラインで読んだことがあります。）ウマノスズクサを育てて数年、ジャコウアゲハが自然に自宅の庭に飛来するようになりました。

撮影場所・日時：

姫路市広畠区西蒲田の自宅庭 2024年7月23日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：平松隼
2. 高校・学年：東洋大学付属姫路高等学校・1年

審査員からのコメント：

決定的瞬間が撮れています。

エッセイに心動かされました。ココにのってたくましくあれ。